

フェニルケトン尿症と学校

—教師と教育関係者のために—

(大阪市立小児保健センター) 山本裕子

長谷豊

鶴原常雄

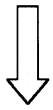
(大阪市更生療育センター) 大浦敏明

昭和59年度に行なった一般公立小学校教師に対するアンケート調査により、次の事が知られた。すなわち、PKUに関してある程度の知識をもっているものが20～25%であり、食事療法を学童期でも継続することに対しても協力の姿勢がうかがわれた。しかし、集団の中でPKU児を、食事上の制約を除けば全く正常で健康な児童として、健常児と同じようにとり扱うという考えは乏しかった。また、59年夏開かれたPKU児の会で、PKU児がいじめの対象となり、転校を余儀なくされた例があり、他にもいじめで苦しめられた訴えがあった。

これらの問題は、単にPKU児のみならず、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ヒスチジン血症およびガラクトース血症にも共通した問題であり、切角早期発見・早期治療で正常に発達してきた子どもたちが学童期に入って挫折し、心身障害の予防という本来の目的を見失うおそれがある。

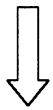
そこでアメリカ保健福祉省で発行された、「フェニルケトン尿症と学校 — 教師と教育関係者のために —」なる小冊子を、担当官の許可を得て訳し、日本語版を作成した。

これを関係諸機関に配付し、代謝異常スクリーニング事業発展の一助としたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



フェニルケトン尿症と学校 - 教師と教育関係者のために -

(大阪市立小児保健センター)山本裕子,長谷豊,鶴原常雄

(大阪市更生療育センター)大浦敏明

昭和 59 年度に行なった一般公立小学校教師に対するアンケート調査により,次の事が知られた。すなわち,PKU に関してある程度の知識をもっているものが 20~25%であり,食事療法を学童期でも継続することに対しても協力の姿勢がうかがわれた。しかし,集団の中で PKU 児を,食事上の制約を除けば全く正常で健康な児童として,健常児と同じようにとり扱うという考えは乏しかった。また,59 年夏開かれた PKU 児の会で,PKU 児がいじめの対象となり,転校を余儀なくされた例があり,他にもいじめで苦しめられた訴えがあった。

これらの問題は,単に PKU 児のみならず,メープルシロップ尿症,ホモシスチン尿症,ヒスチジン血症およびガラクトース血症にも共通した問題であり,切角早期発見・早期治療で正常に発達してきた子どもたちが学童期に入って挫折し,心身障害の予防という本来の目的を見失うおそれがある。

そこでアメリカ保健福祉省で発行された,「フェニルケトン尿症と学校 - 教師と教育関係者のために - 」なる小冊子を,担当官の許可を得て訳し,日本語版を作成した。

これを関係諸機関に配付し,代謝異常スクリーニング事業発展の一助としたい。